

## 再評価実施事業調査書

番号	6	事業名	街路事業 (連続立体交差)		路線又は箇所名等		新京成線(鎌ヶ谷市)			
事業所管課			道路整備課		事業主体		千葉県			
事業化 年度	平成10年度	用地着手 年度	平成14年度	工事着手年度	平成14年度	再評価の理由				
				工事終了(認可)年度	平成22年度					
費用便益比 B / C	1.4	総費用	347 億円	総便益	498億円	基準年	平成20 年度	供用開始 年度	平成22 年度	

## 【事業概要】

## (目的)

本事業は、鎌ヶ谷市の中心市街地を走行している新京成線において、鎌ヶ谷大仏駅～くぬぎ山駅間の約3.3kmを高架化し、既存の踏切10箇所を除却することにより、交通渋滞や踏切事故の解消を図ると共に、鉄道により分断された市街地の一体化を図るものである。

## (規模)

- ・総事業費 : 約350億円(都市側負担 約309億円、鉄道側 約41億円)
- ・事業延長 : L = 3,257m
- ・事業認可期間 : 平成13年度～平成22年度(延伸検討中)
- ・高架化する駅 : 北初富駅、新鎌ヶ谷駅、初富駅
- ・整備する関連側道 : 4路線
- ・高架化の方法 : 仮線方式

## 【事業の進捗状況】

平成19年度末の進捗率 事業費ベース 約28% / 用地買収面積ベース 約64%

## 【社会経済情勢等】

## 1. 踏切遮断時間等について

現在、10箇所の踏切における自動車の踏切遮断時間は、1日当たり平均約4.8時間であり、踏切除却することにより、この遮断時間が解消される。

また、国道、県道に係る3箇所の踏切交通遮断量(台時/日)は、各々、5万台を超えており、いずれもボトルネック踏切となっている。

ボトルネック踏切とは、1日踏切交通遮断量5万台時以上、もしくはピーク時遮断時間40分以上の踏切を言う。

## 2. 踏切事故件数について

平成15年度から平成19年度の踏切事故件数は、142件(年平均約28件)であり、うち、死傷事故が3件発生している。踏切除却することにより、これらの踏切事故が解消される。

## 3. 関連する他事業について

独立行政法人都市再生機構施行の新鎌ヶ谷特定土地区画整理事業は、工事が本年度中に完了すると共に、一部で換地処分も始まっており、平成24年度までに事業終了となる予定である。

また、今後、「北千葉道路」や「成田新高速鉄道」の整備により、鎌ヶ谷市は、都心と千葉NTや成田空港の県東部を結ぶ交通の要衝となることから、さらに、都市化の進展や交通量の増大が予想される。

## 【対応方針(案)】

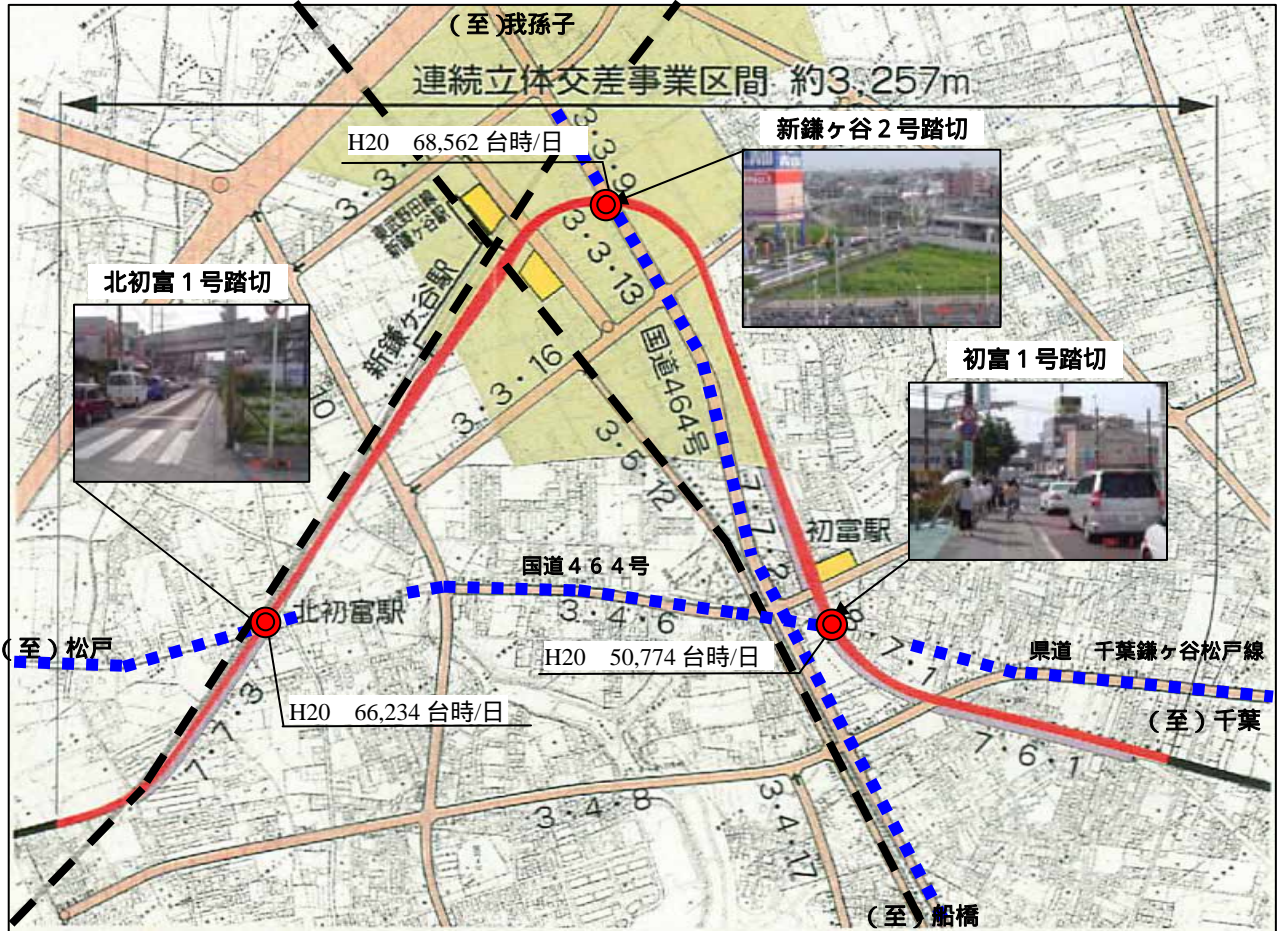
## 継続

平成16年に隣接する東武野田線が完全高架化し、土地区画整理事業も概成して来ている。本事業は、交通渋滞の解消と共に、計画的な街づくりの一翼を担う事業として不可欠である。また、今後の交通量の増大に対応して、早期に鉄道を高架化し、踏切除却により、道路交通の円滑化を図る必要があると考えている。

事業概要図

番号	6	事業名	街路事業 (連続立体交差)	路線又は箇所名等	新京成線(鎌ヶ谷市)
----	---	-----	------------------	----------	------------

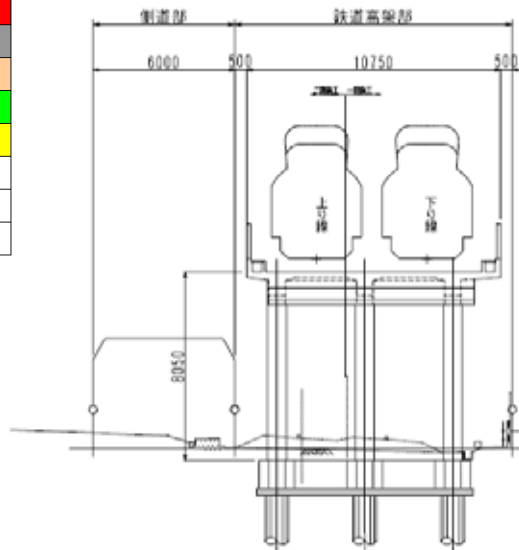
平面図



凡例

鉄道高架	■
関連側道	■
都市計画道路	■
新鎌ヶ谷特定土地 整理事業	■
駅前広場	■
国道・県道	■
在来線	■
ボトルネック踏切	●

標準断面図



位置図

